

2025 年度四国の魅力発信・特集記事制作委託業務仕様書

1. 委託事業名

2025 年度四国の魅力発信・特集記事制作委託業務

2. 実施目的

2025 年 4 月から開催される大阪・関西万博や瀬戸内国際芸術祭に伴い、四国への旅行者数の増加や四国への注目が高まることが期待されるなか、オウンドメディアのHP上に四国の魅力を発信する特集記事を新たに制作・掲載することで、「旅ナカ」「旅アト」に関わらない継続的な情報発信を行い、四国の認知度拡大と国内外からの誘客促進を図る。

3. 委託業務の内容（提案内容等）

（1）ターゲット

日本や四国、旅行に興味関心がある層（対象言語：日本語、英語、繁体字）

（2）実施内容

四国の魅力を発信する特集記事を 9 本制作すること。なお、制作する特集記事の内容（テーマ）などについては次のとおり。なお、提案にあたっては、特集記事のイメージがわかるよう、テーマ（設定理由を含む。）、構成イメージ（どのような文脈で魅力を紹介するか）、SEO対策を具体的に提案すること。

① 通常特集記事の制作

次のとおり、テーマ指定の記事を 1 本、自由テーマの記事を 4 本制作すること。

ア 内容（テーマ）

◆ テーマ指定（1 本）：四国の「ジオ」特集 ※具体的なテーマは要提案

四国の「ジオ」をテーマに 1 本制作すること。なお、記事の内容は、四国内の「ジオパーク」の紹介を中心とするものや、「ジオ」をキーワードに、地域の地質や地形、これらに関連する気候や風土、文化等の科学的知見（※高度な専門的知見を求めるものではなく、知的好奇心を満たすものであれば可。）を絡めて各地の景勝地や観光地を紹介するものなど、「ジオ」をベースにした内容であれば自由とする。

◆ 自由テーマ（4 本）：※要提案

四国 4 県のバランスや四国広域での観光促進・魅力度の向上を考慮して、自由テーマにより 4 本制作すること。なお、テーマの設定方法や四国 4 県のバランスの取り方についても自由とする。

○ テーマ設定例

例 1) 4 記事共通テーマを 1 つ設定

例 2) 記事ごとに異なるテーマを設定

○ 四国 4 県のバランス例

例 1) 1 記事で 4 県まんべんなく取り上げる

例 2) 1 記事ごとに 1 県（または 2 県）にフォーカスして取り上げる

イ 使用言語

日本語、英語、繁体字の 3 言語

ウ 文字数等

記事は日本語記事をベースに 1 記事あたり 2,000 字以上とし、1 記事につき、

上記言語ごとに作成すること。なお、英語及び繁体字の記事については、日本語記事をベースに制作することを基本とするが、ターゲット（言語）層の嗜好等に応じて、内容をアレンジすることも可能とする。

エ 制作スケジュール

テーマ指定（四国の「ジオ」特集）の記事については、日本語記事を7月上旬までに公開することとし、その他自由テーマの記事については、日本語記事を1月30日（金）までに公開すること。なお、多言語（英語・繁体字）記事については、日本語記事公開後、概ね1カ月以内に公開するものとする。

② グルメ特集記事の制作

次のとおり、四国のグルメに関する特集記事を4本制作すること。

ア 内容

機構内のグルメ特集記事（※）を参考に、各県1グルメ以上ずつ制作。なお、記事は、歴史や文化的背景、おすすめの食べ方や関連するグルメも併せて紹介するなど、単一的な概要の紹介に終始しないものとする。

※参考

日本語ページ：<https://shikoku-tourism.com/feature/gourmet/top>

英語ページ：<https://shikoku-tourism.com/en/tastes-of-shikoku/tastes>

繁体字ページ：https://shikoku-tourism.com/zh_TW/tastes-of-shikoku/tastes

イ 使用言語

日本語、英語、繁体字の3言語

ウ 文字数等

記事は日本語記事をベースに1記事あたり1,000字以上とし、1記事につき、上記言語ごとに作成すること。なお、英語及び繁体字の記事については、日本語記事をベースに制作することを基本とするが、ターゲット（言語）層の嗜好等に応じて、内容をアレンジすることも可能とする。

エ 制作スケジュール

日本語記事を11月上旬までに、多言語（英語・繁体字）記事を11月28日（金）までにすべて公開すること。各記事の制作スケジュールは任意とするが、過度に偏りが発生しないよう留意して計画すること。

（3）特集記事の制作にあたっての留意点

特集記事の制作に際しては、以下に留意すること。

《制作について》

① 特集記事の内容は、事前に機構と十分に協議のうえ確定すること。

※ 提案にあたっては、記事の制作プロセス（本文の作成、機構との調整、翻訳作業などの一連の流れ）を実施体制とともに提示すること。

② 特集記事の内容は、機構との協議に先立ち、必要に応じて観光PRや掲載予定スポットなどに知見のある者から助言を得ること。

③ 文章は受託者で作成し、翻訳すること。

④ 文章（特に外国語）は、ネイティブチェックによる言語チェックを受けたものにする。また、機械的な直訳ではなく、現地の人にとっても違和感のない内容で発信できる逐語訳となるよう翻訳体制を構築し、提案書の実施体制図等

で提示すること。

- ⑤ 特集記事の制作にあたっては、現地での取材や写真撮影までは必須としないが、内容の正確性が担保（ファクトチェック）されるよう、十分な確認作業（例：電話やメール等でのヒアリングなど）を実施すること。
- ⑥ 使用する画像や写真は、機構から提供できるものもあるが、原則、受託者で用意すること。

《入稿方法について》

- ⑦ 原則、機構HP（<https://shikoku-tourism.com/>）のCMSを用いた入稿（※）とする。なお、受託者で独自に制作する静的ページ（HTML形式）での入稿を想定している場合は、提案時にその旨とその有用性を提案すること（ただし、実施可否や入稿に係る費用負担は別途協議のうえ最終決定するものとする。）。

※ 参考：機構HP上で表現できる仕様（表示形式）

- 特集記事に係るもの（段落で用いることができる表示内容）

イ) 画像＋本文

見出しとなる画像（最大4枚）と共に本文を表示。なお、両者の位置関係は「画像（上）＋本文（下）」または「画像（左）＋本文（右）」のいずれか選択可能。

ロ) 本文＋関連スポット情報 ※日本語ページのみ

本文と共に関連スポット情報（画像（1枚）＋名称・説明文）を表示。なお、両者の位置関係は「本文（上）＋スポット（下）」となり、掲載スポットは横に3件ずつ表示（PC上で表示する場合）される。なお、表示させるスポット情報はHP上の既存登録情報の援用（リンク貼り付け）と新規登録（任意作成）のいずれも可能。

ハ) 本文＋地図&スポット位置表示 ※日本語ページのみ

本文と共に地図を表示。なお、両者の位置関係は「本文（上）＋地図（下）」。

地図上には別途登録するスポット（HP上の既存登録情報の援用、新規登録いずれも可。）をピン立てにより表示可能。

いずれの表示形式も本文直下にコラム形式（別枠。画像1枚＋タイトル・説明文を掲載可。）の掲載が可能。また、本文中にはHTMLコードによりURLやボタン要素などの埋込が可能。なお、外国語ページ（英語・繁体字）については、日本語ページと対応する表示形式の仕様が異なるが、HTMLコードの活用は可能である。

- その他活用できる機能

ニ) モデルコース作成機能

例) <https://shikoku-tourism.com/course/24164>

なお、作成したモデルコースについては、上記ロ)の関連スポット情報の表示機能により援用（リンク貼り付け）が可能。

《その他》

- ⑧ 機構HP上の既存登録情報（スポット情報、特集記事など）で関連するものがあれば、可能な範囲で当該掲載ページへのリンクを貼るなど、サイト内周遊を活性化できる構成となるよう工夫すること。
- ⑨ 制作にあたってはSEO対策（※対策方針を提案すること。）を考慮すること。ただし、必要以上に認知度が高い（検索ボリュームが多い）スポットばかりを取り上げるものや、既存の特集記事と重複する内容であるものなど、四国の新

たな魅力発信に繋がらない記事となることがないように十分留意すること。

- ⑩ 制作した特集記事について、別途、メルマガや広告配信を実施する場合があるため、その際に使用する画像や写真（記事で使用したものの一部の使用を想定。）の提供に協力すること。

（４） 報告書の作成及び提出

① 特集記事のPV数等に関する報告

特集記事公開後は、最低３カ月ごとに、記事のPV数や流入状況を集計して報告すること。なお、SEO対策や分析に必要となる「Google Search Console」「Google アナリティクス」の閲覧権限は、当機構から付与する。

② 実施報告書（全体統括）

業務委託期間終了後、事業全体を総括する報告書を作成し、提出すること。

４．作成物に関する権利の帰属等

- （１） 本件委託においては、著作権の取扱いに十分注意すること。
- （２） 本件委託の履行に伴い発生する全著作物（地図及び第三者があらかじめ著作権を保有している図・写真・映像を除く）に関する一切の権利は、機構に帰属する。
- （３） 本件委託により得られる著作物の著作権者人格権について、受託者は将来にわたり行使しないこと。また、受託者は本作品の制作に関与した者について著作権を主張せず、著作権者人格権についても行使させないことを約するものとする。
- （４） 本件に使用するイラスト、写真、映像、その他資料等について、第三者が権利を有するものを使用する場合、第三者との間で発生した著作権その他知的財産権に関する手続や使用権料等の負担と責任は、全て受託者が負うこと。
- （５） 上記の規定は、第三者に委託した場合においても適用する。受託者は、第三者との間で必要な調整を行い、第三者との間で発生した著作権その他知的財産権に関する手続や使用権料等の負担と責任を負うこと。
- （６） その他、著作権等で疑義が生じた場合は、別途協議の上、決定するものとする。

５．その他

- （１） 企画採用後、機構との協議内容により、当初企画提案内容の一部を変更する場合がある。
- （２） 事業の実施にあたり、機構が必要であると認めるときは、受託者と協議のうえ、事業の実施計画の内容を変更することができる。契約の履行について不明な点がある場合は、事前に機構と協議し、これを確定すること。

６．事業の実施期間

契約締結の日から 2026 年 2 月 27 日（金）

７．委託金額

3,188,000 円（消費税及び地方消費税を含む。）以内とする。